

第1学年 算数科		
教科目標	(1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。 (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。	
評価方法	発表・観察・ノート・テスト・提出物等で評価する。	
月	単元・題材名	主な学習活動
4月	1 なかまづくりとかず なかまづくりくらべよう 10までのかず おおきいちいさい、か ずならべ 0とうかず こえにだしていおう	親点や条件に応じて意欲的に集合をつくり、1対1対応のよさに気づいて、数量の多少を比べたりする。 数で表すことのよさに気づき、身の回りの具体物の個数を数えて数字で表したりする。 1対1対応を用いて、集合の要素の個数の表し方や比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。 親点や条件に応じてものの集合をつくり、要素の個数を比較する。 10までの数について正しく数えることができ、数字を読んだり書いたりする。 集合の要素の個数について1対1対応による比較のしかたを理解する。 10までの数についてその数え方、数字の読み方書き方を理解する。
	2 なんばんめ なんばんめ	順序を数を用いて表せることのよさに気づき、それを生活の場で活用する。 数を順番や順序を表すものとして、みることが出来る。 数を用いて順序や位置を表すことができる。 数を用いて順序や位置を正確に表せることを理解する。
5月	3 いくつといくつ いくつといくつ	1つの数を他の数を用いていろいろな組み合わせを考えて表そうとしている。 10までの数について、1つの数を他の2つの数の和や差としてとらえ、言葉や半具体物などを用いて表現する。 10までの数の合成、分解をする。 10までの数の構成を理解する。
	4 あわせていくつふえるといくつ あわせていくつ ふえるといくつ たすといくつ 0のたしざん もんだいづくり	日常の事象から合併や増加の場面を見出し、式に表すよさに気づき、加法を適用する。 合併や増加などの場面を、どちらも加法の関係として関連づけてみる。 和が10以内の加法計算の仕方を1位数の構成に着目して考えたり、操作によって表現したりする。 和が10以内の加法計算を確実にする。 合併や増加の場面など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解する。
6月	5 のこりはいくつちがいはいくつ のこりはいくつ ひくといくつ 0のひきざん ちがいはいくつ もんだいづくり	日常の事象から求残や求補、求差の場面を見出し、式に表すよさに気づき、減法を適用する。 求残や求補、求差の場面を、どれも減法の関係として相互に関連づけてみる。 被減数が10以内の減法計算の仕方を1位数の構成に着目して考えたり、操作によって表現したりする。 被減数が10以内の減法計算を確実にする。 求残や求補、求差の場面など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解する。
	6 10よりおおきいかず 10よりおおきいかず たしざんとひきざん	10をひとまとまりにして数えるよさに気づき、ものの個数を数える。 20までの数の構成を基に、数え方や計算の仕方などに活用する。 20までの数を10といくつとみて、数え方や読み方、書き方などを考え、表現する。 数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりがない加減計算の仕方を考え、表現する。 20までの数について数えることができ、数を読んだり書いたりする。 20までの数の繰り上がりや繰り下がりがない加減計算をする。 20までの数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。 10をひとまとまりにして数えるよさに気づき、ものの個数を数えようとする。
7月	7 なんじ なんじはん なんじ なんじはん	時刻を読み取り、日常生活に生かそうとする。 短針と長針の関係をたどって、それぞれの針の位置で時刻が決まることを表現する。 何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりする。 何時、何時半の時刻の読み方を理解する。
	8 はなはなんこさいたかな はなはなんこさいたかな	ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすることに親しみをもち、よさに気づく。 個数の多少が分かりやすくなるように、大きさをそろえたり端をそろえて並べたりするなど、表し方を工夫する。 ものの個数を集合別に数えて整理したり、個数の多少を比べたりする。 ものの個数を集合別に数えて整理して表すと個数の多少が分かりやすくなることを理解する。
9月	9 どちらがながい どちらがながい	身の回りにあるものの長さに関心をもち、比較の方法を工夫しようとする。 身の回りにあるものの長さについて、直接比較や間接比較、任意単位による測定などの方法を考える。 直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べる。 長さについての基礎的な意味や感覚を身につけ、比較や任意単位による測定の方法を理解する。
	10 3つのかずのけいさ ふえたりへったり	問題場面から数量の関係を読み取り、3つの数の減法の場面を1つの式に表す。 2つの数の加法や減法を基に、3つの数の計算の仕方を考え、表現する。 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表し、計算する。 2つの数の加減計算を基に、3つの数の加減計算ができることを理解する。
	11 どちらがおおい どちらがおおい	身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫する。 体積の大きさを直接比較、間接比較の方法で比べる。 長さの学習を基に、体積も数値化して表すよさに気づき、その方法を考え、言葉や具体物を用いて説明する。 任意単位による体積の測定方法を理解する。
	おぼえていかな	既習内容を適切に用いて問題を解決する。

10月	12 たしざん 9+4のけいさん 3+9のけいさん カードれんしゅう	既習の加減計算や数の構成を基に、9+4などの計算の仕方を考える。 1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて表現したり工夫したりする。 1位数どうしの繰り上がりのある加法計算を確実にする。 10のまとまりに着目することで、繰り上がりのある加法計算ができることを理解する。
	13 かたちあそび かたちをつくろう かたちのとくちょうを まとめよう かたちをつつしてえを かこう	身の回りにあるものの形について、観察や構成・分解したり、形の特徴や機能をとらえたりする。 身の回りにあるものの形について、形以外の属性を探索して形を認めたり、立体の面の形に着目したりして、形の特徴や機能をとらえる。 身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能をとらえ、分類する。 身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を理解する。
	おぼえているかな	既習内容を適切に用いて問題を解決する。
11月	14 ひきざん 13-9のけいさん 12-3のけいさん カードれんしゅう	既習の加減計算や数の構成を基に13-9などの計算の仕方を考えようとする。 13-9などの計算の仕方考え、操作や言葉などを用いて説明する。 10のまとまりに着目することで、11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算ができることを理解する。 11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算を確実にする。
	どんなけいさんになる のかな	
12月	15 どちらがひろい どちらがひろい	面積に関心をもち、面積の比較の仕方考えようとする。 面積を直接比較で比べる。
1月	16 20よりおおいかず 20よりおおいかずを かぞえよう 99よりおおいかず 100までのかずの らひかた 100よりおおいか ず おおいかずのけ いさん まとめ	10ずつまとめて数えることよきや十進位取り記数法のよきに気づき、もの個数を数えたり表したりする。 2位数の構成を基に、数の見方や計算の仕方などに活用する。 既習の数の表し方の仕組みを基に、2位数の教え方や読み方、書き方などを考え、表現する。 10を単位とする見方や数の構成、既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方考え、表現する。 2位数や簡単な3位数について、個数を数えたり、数を読んだり書いたりする。 位取り記数法は書き位置の違いを利用して表していることを理解する。 簡単な場合の2位数の加減計算をする。 2位数や簡単な3位数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。
	おぼえているかな	既習内容を適切に用いて問題を解決する。
2月	17 なんじなんぶん なんじなんぶん ビルをつくろう	時刻を日常生活の活動と関連させて読む。 時刻の読み方を理解する。
	18 ずをつかてかんがえよう たしざんとひきざん おおいずくない ずにかいてかんがえよう	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表すことよきに気づき、図を用いて解決する。 順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表し、問題の構造をとらえて考える。 順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を式に表し、解決する。 順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面の問題解決を通して、加減の意味を拡張して理解する。
	19 かたちづくり かたちづくり	色板を使って、いろいろな形を作ろうしたり形を変えようしたりする。 色板などをずらしたり回したり裏返したりすることを通して、いろいろな形を構成・分解することを考える。 数え棒を使って、いろいろな形を作る。 直線で構成された形を、面で表された図形と同じように見られることを理解する。
	ばしよをあらわそう	数と上下や左右の言葉を組み合わせ用いて、位置を正確に表す。
	けいさんピラミッド	計算ピラミッドに関心をもち、自分でいろいろな問題をつくる。 数を2つの数の和や差としてとらえ、計算ピラミッドの解決の仕方考える。
1ねんのふくしゅう	既習内容を適切に用いて、問題を解決する。	